



今年も、猛暑がやって来た

とうとう、今年も、また、うだるような暑さがやって来ました。6月末までは、暑いと言っても、何とか凌ぐことができましたが、7月の声を聞くとや否や30℃を超える猛暑となりました。3日の出勤時刻に、薬院六つ門にある温度計が、既に34℃を示し、日中にはかなり高い温度になることを容易に予想させる温度でした。

本園では、プール使用の一つの目安として、水温+気温が50℃以上の時としています。また、水温が高くて、気温が低いと体感温度を寒く感じて風邪を引きやすくなりますし、逆に、気温が高くて水温が低いと、体に悪いために、温度差も5℃以内と決めています。3日は、午前中から2つの条件をクリアしていましたから、子どもたちはプールで遊べることを楽しみに待っていたようです。

この日は、年少のこあら組さんが、初めて幼稚園のプールを楽しみました。それまでは、園庭の簡易ビニールプールで、水遊びを楽しんでいましたが、今回は、少し広めのプールで、クラスの友達と一緒に入れる楽しさを味わっていました。先生の合図で、顔に水を付けることから始めました。少しずつ水に慣れてくると、ワニさん歩きをしたり、手足をばちばちさせたりして、少しずつ、水に慣れていく練習を繰り返していました。

子どもたちの元気な歓声に「何事か」と思って駆けつけると、みんな楽しそうに水に親しんでいました。ホースから流れる水も嫌がっていた子どもたちが、終わりの時刻近くになると、すっかり、水に慣れてきたようです。その証拠に、水を嫌がって泣く子どもは一人もいませんでした。

子どもたちが、暑さを忘れて、水と戯れている姿を見ると、羨ましい限りです。私も、水着を用意していますので、子どもたちといつでも一緒に、



台風、大雨等による休園の確認

4日の台風襲来の情報に緊張し、前日に休園の案内をしましたが、天気予報が空振りに近く、4日当日は、小雨程度で済みほっとしたところです。職員は通常通り出勤して、安全点検を行いました。小雨程度でしたから、特に変わったところもなく、安堵したところです。園舎自体が老朽化しているために、これまでも、少しの雨でも、あちこちの教室から雨漏りの報告がありましたので、本園にとりましては、少しの雨も油断がならないところですが、今回は、無事で助かりました。

県内のほとんどの幼稚園、小・中学校は、教育委員会の指示により、休校措置を取るようになりましたので、本園も、前日に早々と、休園措置の連絡をしました。しかし、昼から晴れるのなら、休園措置をするのではなかったと悔やまれるところです。長期休業前の大切な時期ですから、この休園は、大変痛い一日となりました。今回の場合、結果として、大きな被害をもたらさなかったことを良ししたいと思います。

そこで、以前にお知らせしていましたが、天候異変による休園措置について、再度、確認しておきたいと思います。

① 天気予報で、大雨警報、暴風警報、暴雪警報など、2つ以上の警報が出された時。

※ 福岡市教育委員会が、事前に公立の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校に対して休校措置を指示した場合、これに準じる。

●●注意報の場合は、この限りではありませんからご注意ください。こうした事態の時は、メールにてお知らせしますが、小学校や中学校にお子さんをお持ちのご家庭では、学校から先に連絡があることが多いと思われます。そんな時は、幼稚園からも必ず連絡があると思ってください。

これ以外に、幼稚園の周囲が、土砂災害特別区域に指定されているために、土砂災害の恐れがある場合には、園の独自の判断で、安全確保のために休園措置をすることもありますので、事前のメールにお気をつけ頂くと幸いです。

地球温暖化により、地球全体が悲鳴を上げているような気がします。氷山が融解し、日本が温帯から亜熱帯に変化し、35℃以上の異常高温が常態化しています。異常気象が気になります。